

やさしい解説

AIT通信

Accounting Information Technology

2007年(平成19年)10月創刊
第46号 平成23年7月号

セツに
かササギがつなぐ
二人の絆



発行



有限会社エーアイティ研究所

〒969-1169
福島県本宮市本宮字小原田 200 番地 2
TEL 0243-33-5538 FAX 0243-33-4467
URL <http://www.motomiya-mcs.jp/ait/>
E-Mail info@motomiya-mcs.jp

新製品 モバイル Wi-Fi ルーターとは？

これまでは外出先でインターネットを利用するためには、パソコンに通信端末を取り付け、電話回線を通して利用するのが一般的でした。最近では公衆無線 LAN サービスも普及してきていますが、まだまだ十分対応しているとは言えません。また、スマートフォンや iPad 等のようにデバイスが多様化してくると、機器・デバイス毎に通信契約が必要になり、通信費用もばかになりません。

そこで、複数のデバイスを使い分ける人に打って付けたのが「モバイル Wi-Fi ルーター」です。

持ち運び可能な「ルーター」

ルーターとは、本来は、異なるネットワーク同士を接続するための機器ですが、複数の端末・デバイスをまとめて1つの通信回線に接続するための機器としても用いられています。この後者の機能と携帯電話回線への接続機能を組み合わせたものが「モバイル Wi-Fi ルーター」です。

モバイル Wi-Fi ルーターは、無線 LAN (Wi-Fi) の機能で各パソコン、デバイスと接続し、電話回線網でインターネット



＜各社のモバイル Wi-Fi ルーター＞

に接続します。無線 LAN で同時に接続できるのは 5～6 台程度です。

各社ごとに通信プランは異なりますが、定額制か二段階定額制を採用しており、最大月額 5,000 円前後が定番となっています。ルーター本体の価格は 2～3 万円程ですが、契約時に長期契約を条件に無料となるキャンペーンをやっていたりしますので、購入する際はタイミングをみて購入するのがよいでしょう。

また、携帯電話の通信エリアがそのまま対応エリアとなるので、選ぶ際には対応エリアにも注意が必要です。

モバイル Wi-Fi ルーターは、ノートパソコンや iPad 等を状況に合わせて使い分ける方にぴったりな端末です。クラウドの浸透と共に欠かせないアイテムとなりそうです。ぜひ活用して、スムーズな業務遂行を目指しましょう！

新製品 パソコンで地デジ！

7月24日、東北の3県（福島、宮城、岩手）を除く全国で一斉にアナログテレビ放送が終了し、デジタル放送へ移行します。皆さんは地デジへの移行はお済でしょうか？

パソコンでテレビを！

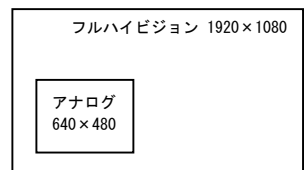
これまで、パソコンでテレビを観ていた、録画していたという方も多いことと思います。地デジに移行してしまうと、当然アナログチューナーのパソコンでは視聴できなくなってしまいます。内蔵型チューナーの場合、デスクトップならチューナーユニットを交換して対応も可能ですが、一体型やノートパソコンでは難しいでしょう。周辺機器メーカーでは、外付け型のデジタルチューナーも用意していますので、外付け型に切り替えるのも選択肢のひとつではないでしょうか。



＜代表的なパソコン用 地デジチューナー (外付け型、内蔵型)＞

録画には大容量が必要！

地デジはハイビジョン映像です。これまでのアナログ放送は 640×480 ピクセルでしたが、デジタルフルハイビジョンは 1920×1080 ピクセルもあり、アナログの 6 倍の情報量となります。



フルハイビジョンを録画する場合、保存容量も 1 時間あたり約 6 GB ほど必要となり、かなりの大容量です。ディスクメディアへ保存する場合も、ブルーレイディスクドライブは必須となることと思います。

また、情報量が多いことで、パソコン本体のスペックもある程度高い性能が求められます。メーカーの WEB サイトで地デジに対応できる性能かどうかチェックをするツールが配布されていますので、チューナーを購入する前に、動作が可能かどうかまず調べてみるとよいでしょう。

編集後記 ようやく梅雨入りしたかと思ったら真夏のような暑い日が続いています。弊社の周りでは気の早い蝉が鳴き始めて暑さに拍車をかけています。今年は電力不足から例年よりも節電の呼びかけが活発です。弊社でも節電チームを立ち上げ、節電のためエアコンを使う場合は設定温度を高くする、使わないパソコンは電源を切るなど節電運動を行っています。でも、過度な節電で体調を崩してしまったりは元も子もありません。体調管理にも十分気を配りたいと思います。(本田)